

## 当院検査部における特異 IgE 検査項目の再検討

○井上 敏弥,須藤 千秋,武市 藍,岩井 美翔,矢部 茂季,町田 哲男,村上 正巳  
(国立大学法人 群馬大学医学部附属病院)

【はじめに】当院検査部では2010年3月よりImmunoCAP 250(ファディア株式会社)を導入した。導入当時は133項目の特異IgE検査を実施していたが、依頼件数が少なく、有効期限内に使い切れない項目も存在し、コスト面でデメリットとなっていた。また、アレルギー疾患別の特異IgEの陽性率が明らかになり、新たに重要項目へ追加されるものが増えている。そこで今回、特異IgE検査の院内測定項目の再検討を行い、2012年6月に検査項目とオーダー画面の変更を行ったので報告する。

【再検討内容】①検査項目について：2010年3月から2012年1月の年間依頼件数が1件以下の項目は29項目存在し、これらは外注検査に移行した。新たな項目として8項目を追加し、院内測定項目は133項目から112項目となった。  
②オーダー画面について：アレルギー疾患別スクリーニングセットとして成人喘息スクリーニングセット、成人鼻炎・結膜炎スクリーニングセット、成人皮膚炎スクリーニングセット、小児疾患スクリーニングセットの4つを作成し、オーダー画面に加えた。各セットの内容は特異IgE検査の保険点

数算定の上限である13項目に収めるために全国調査において各アレルギー疾患の特異IgEの陽性率が上位13位の項目を選択した。

【依頼件数】検査項目とオーダー画面の変更前(2011年6月～2012年5月)と変更後(2012年6月～2013年5月)の依頼件数は6605件と7303件であり、新規8項目の依頼件数は111件であった。各項目別に変更前と変更後の依頼件数を比較したところ、ユスリカ(成虫)(変更前：1件、変更後：30件)、ハンノキ(属)(変更前：5件、変更後：42件)、ゴキブリ(変更前：4件、変更後：24件)の3項目の依頼件数が特に増加していた。

【まとめ】今回、特異IgE検査項目の再検討を行った結果、項目数は減少したが、依頼件数は増加した。新たに加えたアレルギー疾患別スクリーニングセットに含まれるユスリカ(成虫)、ハンノキ(属)、ゴキブリの依頼件数が大幅に増加した。今後もオーダー状況や全国調査の報告などを把握し、段階的に検査項目の整理を行う必要があると思われる。

連絡先：027-220-8560